

畜産いしかわ

LIVESTOCK INDUSTRY OF ISHIKAWA

地活41号 発行人：石川県 平成14年12月27日発行

(社)石川県
畜産会

畜産関係団体統合に係る 調印式が行われる！

去る12月26日、金沢市のホテル六華苑で(社)石川県畜産会、(社)石川県畜産物価格安定基金協会、(社)石川県家畜改良協会、(社)石川県家畜畜産物衛生指導協会が石川県の立ち会いのもと、統合の基本方針に関する協定書に調印致しました。

これは、畜産経営の向上と安全で高品質な畜産物の安定的な供給を促進し、石川県の畜産振興と県民生活のより一層の充実を図るため、効率的かつ効果的な農家への支援・指導と運営体制の合理化を推進することを目的としたものです。

そして、(社)石川県畜産会を存続団体とし、他の団体は解散して、事業・財産・権利義務を全て存続団体に承継することにより再編整備を行い、(社)石川県畜産協会として平成15年4月1日より新しく発足することになりますので、よろしくご協力下さるようお願い致します。



目次

CONTENTS

- 「家畜個体識別事業の推進について」 … 2
- ヨーネ病の侵入に気をつけましょう!! … 2
- 肥効調節型肥料を用いた
飼料作物栽培試験 …………… 3
- 第14回石川県肉牛枝肉
共励会開催される …………… 5
- 豚肉の消費拡大を図る! …………… 5
- 鶏卵の消費拡大を図る! …………… 6
- 能登牛のPRと消費拡大を図る! …………… 6



石川県
畜産会は

石川県及び中央畜産会との連絡協調と、会員各位の理解と協力のもとに、国際競争力を念頭においた経営改善指導と情報提供等に努めています。
そして生産性と収益性が高く足腰の強い畜産経営の育成にお手伝いします。

「家畜個体識別事業の 推進について」

「モー」
わたしの履歴は
大丈夫？



昨年の1月から牛に全国統一の耳標が一斉装着され約1年が経過し、その後、市町村・農協等を中心とした関係者の協力得て、生産者自らが出生や移動・販売等のデータの家畜個体識別センターに報告しています。しかし、データの重複やエラー等が多くその修正作業に苦慮しているところです。

また、平成14年10月からインターネットにて一般消費者を始め広く履歴情報等が公開されており、今後も法改正が見込まれ、各種事

業を推進する上で、正確な情報が必要です。また、履歴情報が不正確であれば、食肉センターへの受入も難しい等、さまざまな問題へ発展する可能性もあります。

これらの問題を早急に解決するため平成14年11月現在の耳標在庫リスト・繋養牛リストとエラーリストが市町村等より皆様方へ届けられたと思いますが、もう一度再確認して頂き修正をお願い致します。

ヨーネ病の侵入に 気をつけましょう!!

防疫課
一二三誓祐

—ヨーネ病検査はもらさず、確実に受検しましょう—

はじめに

ヨーネ病は、ヨーネ菌(*Mycobacterium avium* subsp. *paratuberculosis*)の感染によって起こる、難治性の慢性頑固な下痢と消瘦を主徴とする牛など反芻動物特有の法定伝染病です。

本病は感染から発症までの期間(潜伏期間)が数年以上と著しく長く、臨床症状が現れる前から糞便中に大量に排菌するなど、清浄化が非常に困難な疾病で、現在、全国で多発していることから牛の細菌感染症の中で、最も問題となっています。

1 発生原因

感染は、病畜の糞便で汚染された乳汁、飼料、飲水などを介して経口的に成立します。

さらに、初乳あるいは胎盤を介して親子間で感染することも知られています。特に、6ヶ

月齢以下の幼若牛は感受性が高く、容易に感染するといわれています。

感染後、ヨーネ菌は殺菌作用を有するマクロファージという細胞に取り込まれますが、殺菌作用を回避しこの細胞内で長期間にわたり潜伏します。この状態で妊娠・分娩などのさまざまなストレスが加わることにより、急激に増殖し、発症にいたりします。

2 発生状況

当初は、北海道での発生が圧倒的に多く認められましたが、近年では都府県での発生が増加傾向にあります。

本県でも、平成4年3月の内灘町での1戸1頭の発生を皮切りに、平成7年、8年、11年にそれぞれ1頭を摘発しています。また、本年には珠洲・内浦地区で、いずれも導入牛で2戸3頭を摘発しました。

ヨーネ病発生状況

	平成11年		平成12年		平成13年		平成14年(6月現在)	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
北海道 (%)	355 75.7	725 81.8	256 65.6	600 75.2	195 49.7	406 60.1	89 50.3	177 53.0
都府県 (%)	114 24.3	161 18.2	134 34.4	198 24.8	197 50.3	269 39.9	88 49.7	157 47.0
全国	469	886	390	798	392	675	177	334

(家畜衛生週報より)

3 臨床症状

発症初期には軟便を呈し、次いで1～2週の周期をもって間欠性の下痢を繰り返します。

下痢便は黄褐色、泥状、水様性で、抗生物質、整腸剤等で好転することはありません。

腸管からの蛋白質漏出と栄養分の吸収阻害のため、急速に消瘦し、発症後数ヶ月から1年程度の経過を経て、衰弱死します。



慢性頑固な水様性下痢便の排泄(中出、原図)

4 診断

糞便からの菌分離法が最も確実な方法ですが、結果が得られるまでに時間(3ヶ月以上)を要するため、免疫学的診断法としてヨーニン反応及びELISA法があります。

本県でも3年に一度の本病の定期検査や導入牛の検査には、ELISA法を実施しております。本法では2回連続して陽性を示した場合には患畜と診断します。

5 対策及び予防

早期摘発と淘汰がもっとも効果的な方法です。患畜由来の子牛も感染の可能性が高いため、淘汰対象とします。同居牛は、検査の対象とし、臨床症状の有無に関わらず陽性と診断されたときには、淘汰します。以後、発生牛群全頭に対して、定期的な病原・免疫学的な検査を継続し、陽性牛を早期摘発・淘汰することで、清浄化を計っていきます。

その一方で、石灰乳の塗布やイソシアヌル酸系消毒薬を用いて牛舎の徹底的な消毒を実施します。ミルクカーなどの器具は煮沸消毒し、堆肥は十分に発酵・腐熟させてから草地などへ還元することが重要です。

ともかくヨーネ病防疫の第一歩はヨーネ病検査の受検からです。さらに導入牛についても確実に検査を受検しましょう。

石川県
畜産総合
センター

肥効調節型肥料を用いた 飼料作物栽培試験

飼料環境科
柴 教彰

1. はじめに

21世紀における畜産のキーワードとして環境保全型の畜産経営があげられます。

飼料作物栽培においては吸収されない肥料の窒素成分が硝酸性窒素による地下水汚染や温室効果ガスの1つである亜酸化窒素(二酸化炭素の約300倍の熱吸収量)発生の一因とし

て危惧されており、環境保全型の肥培管理について考える必要があります。

当センターでは飼料作物栽培における窒素施肥量を減肥させても十分な収量が得られ、かつ、環境負荷を軽減させる肥培管理技術を検討するために、肥効調節型肥料(LP肥料)を用いた飼料作物栽培試験を平成13～15年度で実施しています。今回は平成13年度に行っ

たスーダングラスの栽培試験の概要について紹介します。

2. 試験の概要

品種はヘイスーダグを用い、平成13年6月5日に10a当たり3kgを条播しました。

試験区は慣行栽培における乾物収量の変化から(図1)、LP30+LPS100(5:5)の2種混合区、その20%減肥区、LP30+LPS60+LPS80(7:1:2)の3種混合区、その20%減肥区と30%減肥区を設定しました。

今回試験に使用した肥効調節型肥料であるLP肥料は温度によって窒素の溶出量が変化します。例えば、LP30ならば25℃の土壤中において約30日で80%溶出し、またSのついたLPS100は数十日間の溶出抑制の後に約100日で80%溶出します。(図1)

3. 成績の概要

(1) 乾物収量

LP肥料を用いた区の1番草と2番草の全乾物収量はいずれも慣行区より多収となりました(図2)。

(2) 窒素吸収量

スーダングラスに吸収された窒素量は慣行区が10a当たり15kgでしたが、LP区は2種混合区で17.3kg、3種混合区で18.3kgとなりました(図3)。

(3) 化成肥料の窒素利用率

化成肥料由来の窒素利用率は堆肥区を0%とすると、慣行区は14.7%でしたが、すべてのLP区は30%以上となり、減肥を行うことでさらに高くなりました(図4)。

4. まとめ

スーダングラス栽培で肥効調節型肥料を用いて減肥を行っても十分な収量が得られ、さらに環境負荷を軽減させることが期待できます。今後は他の草種についても肥効調節型肥料の効果的な組合せと窒素施肥量のさらなる減肥について検討したいと思います。

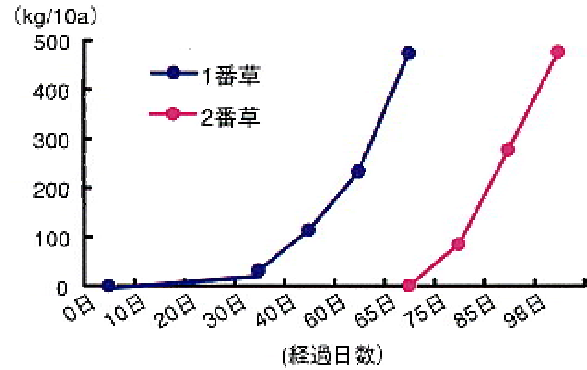


図1. 慣行栽培における乾物収量の変化

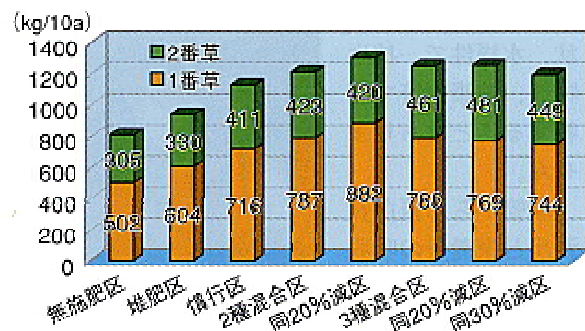


図2. 乾物収量

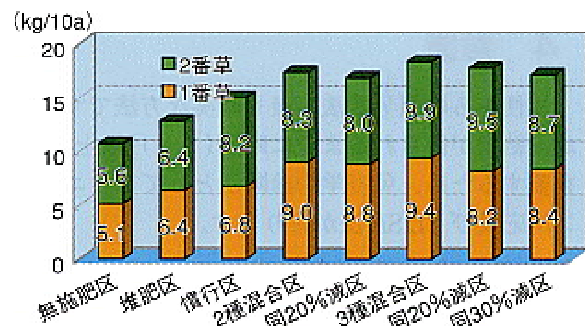


図3. 窒素吸収量

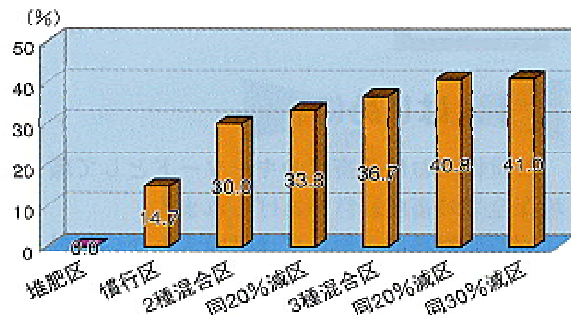


図4. 化成肥料の窒素利用率

石川
県
肉
用
牛
協
会

第14回石川県肉牛枝肉共励会 開催される

昨年の12月7日、石川県金沢食肉流通センターにおいて、第14回石川県肉牛枝肉共励会が盛会に開催されました。

出品は去勢牛17頭、雌牛7頭の計24頭が出品され、日本食肉格付協会東北陸支所長の奥村先生を審査委員長として審査委員7名により、脂肪交雑、締め、きまり等を中心に厳選に審査が行われました。

今回の出品牛は全体的に脂肪交雑が弱く物足りなさを感じましたが、平均で枝肉重量407kg、ロース芯面積 46.3cm、BMS 4.6、BCS 4.0の数値でした。

最優秀賞の石川県知事賞には穴水町の浦谷謙



太郎さんが受賞され、共励会終了後の福井県と合同の販売会が行われ、地元志向を反映して高値で取引されました。

石川
県
養
豚
協
会

豚肉の消費拡大を図る！

去る10月19日～20日、石川県産業展示館で開催された農林漁業まつりにおいて、県産豚肉の消費拡大を図るためのイベントを開催した。

県産豚肉加工品を対象にした釣りゲームと

ダーツゲーム、豚生肉を対象とした重量当てゲームを実施したのを始め、県産豚肉のシールとマグネットの配布等も実施し、大変盛況であった。



石川県
養鶏協会

鶏卵の消費拡大を図る！

去る10月19～20日に石川県産業展示館で開催された農林漁業まつりにおいて、県産卵の消費拡大を図るためのイベントを開催した。

来場者2,400名の方々に1パックを無料配布し、県産卵の新鮮で安全・安心に対するアピールを行ったが、瞬く間に無くなるなど大変盛況であった。



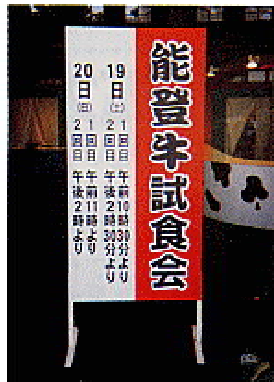
全農石川
県本部

能登牛のPRと消費拡大を図る！

去る10月19～20日、石川県産業展示館で開催された農林漁業まつりにおいて、本県銘柄牛“能登牛”のPRと消費拡大を図るため試食会を開催した。

“能登牛”のおいしさを理解して頂き、消費の拡大を図るための試食会を2日間で午前・午後それぞれ8回に分けて実施しました。

2日間（8回）で1,600名分の試食用“能登牛”を提供したが、いずれも瞬く間に無くなるなど大変盛況であった。



編集後記

畜産生産者並びに畜産関係者の努力によってBSEの風評も収まり、価格も高騰してようやく以前の状態に戻ってきました。しかし、後遺症といえますが個体識別情報にはいろいろとエラーが認められます。

畜産物の安全・安心を築くためには、履歴情報の正確さが大変重要になりますので、畜産生産者並びに畜産関係者の皆様にはもう一度頑張って頂き、正確な情報を提供したいものです。(T)

畜産いかわ 地活41号

編集●社団法人 石川県畜産会

金沢市才田町戊324-2

TEL.076-258-2252 FAX.076-257-8019

URL <http://ishikawa.lin.go.jp>

E-mail tiku-17@mailhost.mitani.co.jp

印刷●能登印刷株式会社

(この指導誌は県委託の地域畜産活性化推進事業によって刊行されているものである。)